

○現行計画における取組の現状評価【施策の進捗状況（各年1月1日時点）】

施策				進捗状況（A：実施中 B：検討中 C：未実施）										備考				
レベル1	レベル2	レベル3	施策NO	レベル4														
1 担い手の育成・確保	①たくましい担い手の育成	①担い手や経営体の育成・確保	1	・認定農業者及び認証農業者の育成	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	・平成20年度に認定農業者等を認定する要綱を整備 ・平成22年度に認定農業者等を支援する補助要綱を整備			
			2	・後継者の育成・確保・資質の向上	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	農業後継者顕彰（東京都農業会議）、新規就業者奨励事業（東京都農林水産振興財団）、フレッシュ&Uターンセミナー（東京都農業振興事務所）等の制度を利用			
	②多様な担い手の育成	①女性や高齢者の参画	3	・女性参画の促進	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	女性農業者セミナー（東京都農業会議）に参加			
			4	・起業活動への支援	C	A	A	A	A	A	A	A	A	A	市内で農産物加工に取り組んでいる農家を紹介			
			5	・高齢農業者の参画	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	表彰受賞者、農業委員経験者等で構成される農業経営者クラブの活動を支援			
		6	②営農支援体制の整備 ・市民参加による援農システムの構築	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	援農の希望者には、援農サークルを紹介 平成29年度から援農ボランティア養成事業を開始				
2 農地の確保	①農地の確保と利用	①農地の確保	7	・生産緑地の追加指定基準の緩和要請	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	平成22年度に「農業施策に関する建議書」を提出し、基準の緩和を要請 平成29年度に基準が緩和			
			8	・相続税の納税猶予制度の堅持	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	各市の農業委員会や東京都農業会議と連携し、国に対し農地の納税猶予制度の堅持運動（要望書の提出や意見交換会等）を行っている。			
			9	・自治体による生産緑地の買い取りの推進	C	C	C	C	C	C	C	B	B	B	買取り申し出のあった生産緑地は買取ることが望ましいが、財政面上困難である。 都市農地貸借円滑化法の施行により平成31年度に民間企業による市民農園が開園			
			10	・農地パトロールの拡充	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	農地パトロールは地区担当委員が随時行っており、夏には農地管理推進月間を定め、重点的に実施			
			11	・農地への支援	C	A	A	A	A	A	A	A	A	A	生産緑地に体験型農園市民農園を設置する際に利用できる補助制度を整備			
			12	・農地管理用地図情報システムの導入	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	平成24年度に導入 平成25年度に稼働			
			13	②農地の利用促進 ・農作業の受委託促進対策	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	生産緑地法との調整が必要			
			3 豊かな産地の育成	①農産物の生産振興	①野菜・切り花生産の振興	14	・消費者ニーズに合わせた品種の作付け	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	江戸東京野菜のイベントやルバーブのパンフレット作成の支援を実施
						15	・農業用機械の導入支援	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	認定農業者支援補助金で農業用機械の補助を実施
						16	・施設化と省エネルギー化への支援	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	認定農業者支援補助金で施設の補助を実施
						17	・販路の確保	C	C	C	A	A	A	A	A	A	A	JAによる市内各所での臨時直売所の実施、市内事業者による野菜の移動販売やSNSを活用した販売
					②果樹生産の振興	18	・優良品種への更新	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	果樹組合が実施している「有果樹苗導入事業」に補助を実施
19	・販路の確保	C				C	C	A	A	A	A	A	A	A	JAによる市内各所での臨時直売所の実施、市内事業者による野菜の移動販売			
4 農業と環境との共生	①環境保全型農業の推進	①有機物による土づくりの推進	20	・優良品種への更新	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C				
			21	・公共事業への活用	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C				
			22	・オープンガーデンの開催支援	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C				
			23	・景観園芸セミナー開催の促進	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C				
②エコファーマー等の育成推進	24	・食リサイクルたい肥を活用した土づくり	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	ごみ対策課のリサイクル堆肥をJAを通して農業者へ配布					
	25	・エコファーマーの育成支援	C	A	A	A	A	A	A	A	A	A	東京エコ制度の普及を推進					
	26	・東京都特別栽培農産物認証制度の普及推進	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	平成23年度に特別栽培農産物認証制度の申請（1件）を実施。 東京エコ制度の普及を推進し、2件の農家が認定されている。					
27	③環境にやさしい資材利用推進 ・環境にやさしい資材利用への利用	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	農業振興連合会に対して、環境にやさしい資材（有機たい肥、フェロモントラップ等）の補助を実施						

施策				進捗状況 (A:実施中 B:検討中 C:未実施)												
レベル1	レベル2	レベル3	施策NO	レベル4	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	備考		
	②多面的機能の確保・活用	①地域資源の保全・活用	28	・美しい地域景観の保全	C	C	C	C	C	C	C	C	C			
5 地産地消	①地産地消の推進	①食育の推進	29	・地産地消の普及活動の推進	B	B	B	B	B	B	B	A	A	消費生活講座による地産野菜を使用した料理教室の開催や農業絵画コンクール受賞作品を使用した食育カレンダーを作成		
			30	・学校給食などへの利用拡大	A	A	A	A	A	A	A	A	A	小学校の給食の市内産の農産物を提供平成30年度時点では約13%まで上昇		
			31	・学校農園の設置	C	C	C	C	C	C	C	C	C			
			32	・望ましい食生活の普及	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	地場野菜を使った料理講習会を実施	
			33	・消費者教育の推進	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	料理講習会や農家見学会等を実施し、農産物の大切さを紹介している。横浜港湾視察	
			34	・共同直売所やアンテナショップの設置	C	B	B	B	B	B	B	A	A	A	平成30年度に都市農業活性化支援事業を活用し、JA東京むさし小金井ファーマーズ・マーケットの什器等の支援を行った。	
			35	・農産物販売所の案内施設や朝市の開催	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		
			36	・のぼり旗の配布	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	庭先販売所支援事業の一部としてののぼり旗を作成し配布
			37	・ロゴマーク作成の検討	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	リサイクル堆肥を使用した農産物に「くるくるかめくん」のロゴや東京エコのロゴマークを使用できることを周知した。独自のロゴについては検討中
			38	・レシピの作成、料理講習会などの開催	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	市内の農産物を使った料理講習会をJAと協力し実施
	39	・土壌検査などの推進	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	農業振興連合会で残留農薬検査を、東京都で放射能の検査を実施		
	40	①小金井ブランドの商品開発の促進	・新たな料理メニューの開発	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	江戸東京野菜を使用した飲食店との企画やルバーブ、キウイフルーツ、フェイジョアを使用した加工品に取り組んだ。また、令和元年度は農業祭にて地産野菜を使用した料理コンテストを開催		
	41	・新たな食のブランド化	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	商業者と農業者が連携を図り新たな食のブランド化に取り組む。		
	42	・新たな商品・サービスの開発	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	ルバーブを使用したジャムなどの商品開発を料理講習会で支援		
6 魅力ある交流	①魅力ある交流	①魅力ある地域づくりの推進	43	・農作業体験の推進	A	A	A	A	A	A	A	A	A	農業経営者クラブと協力し、収穫体験を実施		
			44	・交流拠点整備の推進	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	観光まちおこし協会等と農商連携を推進	
			45	・パンフレットの作成	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	令和3年度に庭先直売所マップの作成を予定	
		②イベントの推進	46	・交流機会の拡大	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	農業祭を第一小学校から武蔵小金井駅前に移動させ、より多くの市民と農業者の交流機会を拡大 R2年度からは道草市を開催し、他分野と連携しながら市民との交流機会を拡大	
			47	・農家見学会の促進	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	農業経営者クラブと協力し、農家見学会を実施	
			48	・オーナー制度の研究	C	C	A	A	A	A	A	A	A	A	体験農園でブルーベリーのオーナー制度、イチゴの畝売りを実施	
			49	・イベント協働相手との進め方	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	農業祭に商工会ブースの設置を行う。	
		50	④農園の整備	・市民農園と体験型市民農園の整備	B	B	B	B	B	B	B	B	B	令和3年1月現在、市民農園4園、高齢者農園2園、体験型農園2園、民間開設型農園1園、合計9園 (令和3年4月1日に市民農園1園開設)		
		51	⑤市有地の有効利用	・農的な活用	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		
		A : 実施中					24	30	31	33	33	33	34	36	35	
B : 検討中					9	9	9	9	9	9	8	7	8			
C : 未実施					18	12	11	9	9	9	9	8	8			
合計					51	51	51	51	51	51	51	51	51			

○現行計画における取組の現状評価【各指標の進捗状況（各年1月1日時点）】

1 担い手の育成・確保

成果指標	策定時の値	目標値	令和3年		備考
			現状値	進捗度	
認定農業者数及び認証農業者数	23人 (平成22年4月1日現在)	31人 現状の約1.5倍増を目標に設定	30人 (令和2年3月に2人追加)	88%	
女性起業者の人数	1人 (平成22年4月1日現在)	4人 現状の4倍を目標に設定	2人	33%	女性の認定農業者数

2 農地の確保

成果指標	策定時の値	目標値	令和3年		備考
			現状値	進捗度	
農地面積	80.9ha (平成22年1月1日現在)	73.4ha 平成17年から平成22年までの減少率が9.37%であるが、減少率を半減した面積を目標に設定	64.9ha (令和2年1月1日現在)	▲8.5ha	
生産緑地面積	67.7ha (平成22年1月1日現在)	62.2ha 平成17年から平成22年までの減少率が8.18%であるが、減少率を半減した面積を目標に設定	57.9ha (令和2年1月1日現在)	▲4.3ha	

3 豊かな産地の育成

成果指標	策定時の値	目標値	令和3年		備考
			現状値	進捗度	
農業産出額	3.1億円 (平成20年産分)	4億円 現状の約30%増加を目標に設定	2.4億円 (平成30年産分)	▲77%	

4 農業と環境との共生

成果指標	策定時の値	目標値	令和3年		備考
			現状値	進捗度	
食品リサイクルたい肥の農家使用量	17t (平成21年度実績)	50t 全たい肥の生産量を目標に設定	20t (平成31年度実績)	9%	

5 地産地消

成果指標	策定時の値	目標値	令和3年		備考
			現状値	進捗度	
農商工学が連携して取り組んだ事業件数	3件 江戸東京野菜、マロンビール、ルバーブプロジェクト	8件 2年に1件を目標に設定	5件 (令和2年1月1日現在)	40%	
共同直売所・アンテナショップの箇所数	5箇所 JA、ヨーカドー、生協、東急ストア、黄金や	10箇所	5箇所	0%	

6 魅力ある交流

成果指標	策定時の値	目標値	令和3年		備考
			現状値	進捗度	
各種農業イベントのサービス対象	3 市民全般、子供、小学校	7 市民全般、子供、小学校、中学校、高校、大学、障がい者	4	25%	
各種農業イベントの協働相手	3 NPO、商工業者、大学	7 NPO、商工業者、大学、小学校、中学校、高校、障がい者	4	25%	
市民農園や体験型市民農園等の数	9箇所 市民農園7箇所(高齢者、農家開設型含む) 体験型農園2箇所	16箇所 市民農園12箇所(高齢者、農家開設型含む) 体験型農園4箇所	8箇所 市民農園7箇所(高齢者、農家開設型含む) 体験型農園1箇所	▲14%	
交流拠点の数	0箇所	1箇所	1箇所	100%	